



2023年1月23日

中信建設株式会社の株式取得に関するお知らせ

コニシ株式会社

当社は、2023年1月6日付で、以下のとおり中信建設株式会社の株式を100%取得し、同社を子会社として、コニシグループに迎えたことをお知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

現在は、橋梁や道路、トンネルといった社会資本ストックや、ビル・マンションといった建築物ストックを、補修・改修し、より長く維持管理していく「ストックの延命」の時代になっています。

当社は、「ボンド事業」が取扱う土木建築物の補修・改修に適した「接着剤・シーリング材」や、外壁補修・耐震補強・表面保護などの「ボンド補修工法」を、工事請負関係会社で構成する「工事事業」で活用することにより、人々が豊かで安心できる社会づくりにコニシグループ全体で貢献して参ります。

このように、「ボンド事業」と「工事事業」が連携することで、今後ますます需要の拡大が予想される橋梁や道路、トンネルなどの社会資本ストックの長寿命化に貢献できると考えており、当社は、「工事事業」を成長戦略の柱として強化しております。



【ボンド 土木製品群】



【工事事業 工事例】



【昭和橋】

また、「中信建設株式会社」は1920年に長野県で創業し、100年以上に渡り地域に根付いて土木建設工事業を営み、長野県内において、橋梁関連工事を始めとする幅広い施工分野で実績を残してきた企業です。

確かな技術と総合力を生かして、町のシンボルとして後世に残るような工事を手掛けることで、地域に不可欠な総合建築企業としての地位を築いております。「中信に『人』あり」を合言葉に、常に社員の人間力を高める努力を続け、多彩な工事から生じる難しい顧客ニーズに対し確かな技術で対応しております。1952年に中信建設が施工した「昭和橋」は土木学会選奨土木遺産に認定されるなど、有力な施工実績を残してきた企業となっております。

この度の株式取得により、コニシグループが有する営業ネットワークや、補修・改修・耐震補強などのボンド補修工法を活用し、同社との連携を図ることで「工事事業」の更なる発展・成長につなげ、収益拡大を目指してまいります。

2.子会社（中信建設株式会社）の概要

(1) 名 称	中信建設株式会社
(2) 所 在 地	長野県千曲市大字上徳間 234 番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 諏訪 和孝
(4) 事 業 内 容	建築工事および土木工事の設計ならびに施工
(5) 資 本 金	20 百万円
(6) 売 上 高	2,688 百万円(2021 年 12 月期)
(7) 創 業 年 月 日	1920 年 8 月 10 日
(8) 設 立 年 月 日	1944 年 6 月 11 日

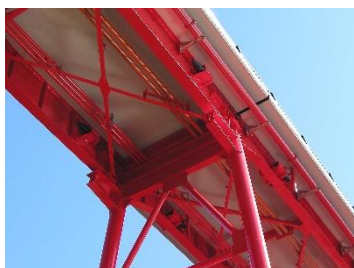
※本件株式取得に伴う当社連結業績への影響は軽微であります。

3.コニシ株式会社について

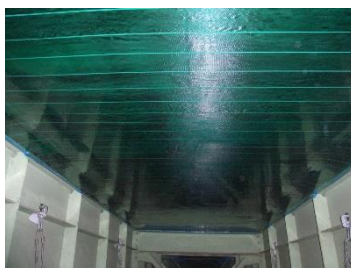
当社の歩みは、1870 年創業の薬種商から始まり、その後、洋酒や工業用薬品の販売から化学品を扱う商社として事業を拡大、1952 年には合成接着剤「ボンド」を開発するなど、お客様の願い、社会の要望にお応えしながら「化学」を扱う企業へと変化していきました。

現在のコニシグループは、当社および関係会社 19 社で構成され、合成接着剤「ボンド」などを製造・販売するメーカーとしての「ボンド事業」、創業からの問屋業の流れを受け継ぎ化学品を扱う専門商社としての「化成品事業」、そして関係工事会社を中心に展開する社会インフラおよび建築ストック市場の維持・補修・改修を目的とした「工事事業」を主力事業として、更なる事業展開を図っています。

当社は、継続的な利益創出と事業拡大を目的として、グループの連携強化、強い生産・物流体制の構築、また、研究開発のスピードアップを図り、コア事業の強化および周辺領域の市場発掘と育成を進めておりますが、ここ数年では特に関係工事会社を中心に展開する「工事事業」を「ボンド」、「化成品」に次ぐ第三の柱と位置付け、事業の強化を推進しております。



鋼板補強工法



連続繊維シート補強工法



コンクリート表面保護工法

[本リリースのお問い合わせ先]

担当者：コニシ株式会社 経営企画室 中谷・小林

電話番号：06-6228-2877

以上